

# 「食の安全・安心」を支える 森林を守り育てるために



解体された古民家の廃材や建具を利用した内装



水源林を守り育てるため、今後  
も少しずつ森林づくり活動を広  
げていきたい、と語る総務部庶  
務課副係長の富田将史さん。

フォレスト  
サポーターズ



美しい森林づくり推進国民運動

株式会社モンテローザ

## 森をささえよう

環境保全活動に参加したいと考え  
ていた私たちにとって、平成23年の  
国際森林年はまたとない機会です。  
もともと、わが社には、各職場

PRもさることながら、従業員に対  
する啓発という面でも大きな意味を  
持っています。

森林は、飲食業にとって切っても  
切れない関係にあります。飲食事業  
の根幹である「食の安全・安心」は  
清らかな水によって支えられてお  
り、その水を育んでいるのは森林で  
す。水源となる森林を守り育てるこ  
とは、私たちにとって社外に対する

森林は、飲食業にとって切っても  
切れない関係にあります。飲食事業  
の根幹である「食の安全・安心」は  
清らかな水によって支えられてお  
り、その水を育んでいるのは森林で  
す。水源となる森林を守り育てるこ  
とは、私たちにとって社外に対する

「白木屋」の第一号店が開店したの  
は昭和58年のことです。この店名  
は、「白」に気品、「木」にぬくもり、  
「屋」に屋台のにぎわいを感じてもら  
いたいという思いから名付けられま  
した。創業時からすでに木との関わ  
りがあったと言っているのかも知れ  
ません。

「白木屋」の第一号店が開店したの  
は昭和58年のことです。この店名  
は、「白」に気品、「木」にぬくもり、  
「屋」に屋台のにぎわいを感じてもら  
いたいという思いから名付けられま  
した。創業時からすでに木との関わ  
りがあったと言っているのかも知れ  
ません。

今年設立30周年を迎え、白木屋・魚民・笑笑などの外食事業をは  
じめ34の業態で全国に2,000以上の店舗を展開している株式会  
社モンテローザは、国際森林年をきっかけに水を育む森林を守り育  
てる活動を始めました。  
今回は、同社の森林づくりへの取組について、総務部の富田将史  
さんにお話しをうかがいました。

環境保全活動に参加したいと考え  
ていた私たちにとって、平成23年の  
国際森林年はまたとない機会です。  
もともと、わが社には、各職場

PRもさることながら、従業員に対  
する啓発という面でも大きな意味を  
持っています。

森林は、飲食業にとって切っても  
切れない関係にあります。飲食事業  
の根幹である「食の安全・安心」は  
清らかな水によって支えられてお  
り、その水を育んでいるのは森林で  
す。水源となる森林を守り育てるこ  
とは、私たちにとって社外に対する

森林は、飲食業にとって切っても  
切れない関係にあります。飲食事業  
の根幹である「食の安全・安心」は  
清らかな水によって支えられてお  
り、その水を育んでいるのは森林で  
す。水源となる森林を守り育てるこ  
とは、私たちにとって社外に対する

「かながわ森林再生50年構想」事業へ  
の参加です。森林再生パートナーと  
して同事業に平成23年から5か年で  
300万円の寄付を行い、相模原市  
の津久井湖畔にある8.87haの  
三井水源林に「株式会社モンテロー  
ザ白木屋の森」と名づけて、その整  
備事業をサポートしています。水源  
地域の森林を健康で活力ある状態に  
保ち、次世代に引き継いでいくため  
に、今後もこの取組を続けていきたく  
と考えています。

で行った環境改善に向けた工夫を  
「もっとe活動」として毎年報告する  
仕組みがありました。国際森林年を  
きっかけに、環境を保全する取組へ  
と範囲を広げ、森林づくりの活動を  
始めたのです。

そのひとつが神奈川県が進める  
「かながわ森林再生50年構想」事業へ  
の参加です。森林再生パートナーと  
して同事業に平成23年から5か年で  
300万円の寄付を行い、相模原市  
の津久井湖畔にある8.87haの  
三井水源林に「株式会社モンテロー  
ザ白木屋の森」と名づけて、その整  
備事業をサポートしています。水源  
地域の森林を健康で活力ある状態に  
保ち、次世代に引き継いでいくため  
に、今後もこの取組を続けていきたく  
と考えています。



## フォレスト・サポーターズ 4つのアクション 活動紹介



🌳 森林づくり活動を伝える箸袋  
店内で使用されている箸袋は、森林づくり活動を伝えるツールとして活用されています。



🌳 カーボン・オフセット・クレジット付きのカクテル「森を育むフォレスト・カクテル」。



🌳 相模原市の津久井湖畔の「株式会社モンテローザ白木屋の森」



🌳 森林再生パートナー制度への参加協力に対して、神奈川県から感謝状が贈られました。(平成23年11月)

## 今日からやろう! 森のための 4つのアクション

### 🌳 森にふれよう

### 🌳 木をつかおう

そのような活動を通じて従業員同士の交流や、森林づくりに取り組む他の企業との交流に発展することを期待しています。

もうひとつの取組は、カーボン・オフセット・クレジット付きのカクテルをメニューに取り入れたことです。これらのクレジットは、筑後川の源流となっている大分県日田市<sup>かみつえまち</sup>上津江町の森林において、間伐を行うことによって増大したCO<sub>2</sub>吸収量から生み出されたものです。お客様は、このカクテルを一杯注文することで、日常生活の中で排出したCO<sub>2</sub>のうち1kgを相殺(オフセット)したとカウントできます。商品としてカクテルを選んだ理由は、鮮やかな色彩やネーミングによって緑や水にあふれる豊かな自然をイメージしやすいのではないかと考えたからです。

平成23年5月にカクテルの第一弾を発売し、白木屋全店(約300店)のメニューに取り入れています。おかげさまで多くのお客様にご注文いただき、これまでにCO<sub>2</sub>約1300トン(13万杯)分のカーボン・オフセット・サービスを<sup>かみつえまち</sup>ご提供することができました。今回追加で1000トン分のクレジット(CO<sub>2</sub>吸収量)を購入しました。引き続き、森林と地球環境の保全に取り組む機会をより多くのお

お客様に提供できることを願っています。

また、店舗の出店や改装でも、環境への負荷を抑える取組に力を入れています。店舗の内装には、古民家を解体した際に発生する廃材や建具などまだまだ十分な強度があるものや、アンティークとして利用できるものを内装材として再利用しています。内装のデザインとしてもめくもりがあり、くつろげる雰囲気を作り出すことができます。今後は、お店の内装に国産材を積極的に取り入れるなども考えていきたいと思えます。

※オフセット・クレジット (C-VERB)  
環境省が運営するオフセット・クレジット(C-VERB)制度に基づいて認証・発行される売買可能なクレジット。オフセット(事業活動等における排出量を他の場所の削減・吸収量で埋めあわせて相殺すること)に活用される。

なお、C-VERB制度は、国内クレジット制度と統合され、平成25年度よりJ-クレジット制度となっている。